

読む人の幸せを心に願って作る

喜びの夕ネまき新聞

No.
634

〈孫の成長〉

孫が1歳の誕生日を迎えました。産まれたばかりの頃は小さな体で一生懸命に手足を動かし、やがて寝返りをするようになり、ハイハイで動き出したかと思えばつかまり立ちをし、今ではよちよち歩きで部屋中を歩き回っています。

ほんの1年の間で少しずつ出来ることが増え、いろいろなことに興味を持つようになりました。また、人見知りや要求をするなど自我が芽生えている孫を見ながら、人が成長していく過程を身近で感じています。

幼少期から学生の頃までは親や指導者から学ぶことが多く、小さなことでも達成した時には褒められるなど、成長を実感できました。しかし社会人になってからは、日々の家事や仕事を一生懸命に取り組んでいるものの、ふと振り返ると「この1年で成長したな」と実感することが少なくなったと思います。

何ごともなく平穏な日々を送れるのはとても幸せなことですが、孫の成長過程を見るにつけ、自分自身も新たなことにチャレンジし、達成を目指して頑張ることが大切だと教えられます。

ある高齢の方からお聞きしました。「年齢とはただの数字に過ぎない。勉強や運動など、新たなことにチャレンジするタイミングは、今です」と。



岡山県

吹屋のベンガラの町並み

※イラストはイメージです

株式会社ダスキン社長

山村輝治



短くも、美しい蒜山の夏。大宮踊に向けて6月頃からシリゲが作られ始める



地域の人々から「シリゲの先生」と慕われる美甘さん



一枚につながっていることを前提とし、数ミリの柄を次々と彫り抜いていく



大宮踊で吊り下げられると、光を受けて柄が浮かび上がる 画像提供:真庭市蒜山郷土博物館



古風な大宮踊を彩る
夏の夜に咲く白い花

シリゲ



本体の「絵」と、四方を囲む「枠」、それらをつなぐ透かし模様の「つり」の三つがそろわなければならない条件

豊穣と子孫繁栄を願う 蒜山に伝わる盆踊り

岡山県真庭市北部に広がる蒜山高原。蒜山三座の山々に囲まれた高原は「蒜山百日雪の下」と言われるほど、冬が長く、夏が短い地域です。

そんな蒜山地域に古くから伝わる行事が、夏の盆踊りである「大宮踊」。曲線的でしなやかな踊り方、締め太鼓のみを伴奏とする素朴な音頭、踊り堂の形式を残す屋内で開催される点など、全国的にも珍しい古風な踊りとして国の重要無形民俗文化財にも指定されています。



風流踊りとしても名高い大宮踊 画像提供:真庭市蒜山郷土博物館

ようですが、そこに切り絵という装飾性が加わったところに、蒜山の人々の感性がうかがえます。

真庭市蒜山郷土博物館の前原茂雄館長は「大宮踊の行灯には、玉串やしめ縄などでよく見られる紙垂が飾られています。シリゲというのは、紙垂に付随する絵という意味の、紙垂絵が語源。次第に、方言の発音からシリゲエ、シリゲイ、シリゲと呼ばれるようになったと考えられます」と教えてくれました。

地域の人々の手によって 継承される大切な文化

昔は大まかな柄だったと言われていますが、現在、実際にシリゲを近くで見ると、その精緻さに目を奪われます。シリゲの第一人者と呼ばれる美甘榮枝さんは、「幼い頃にシリゲを見た時、私も作ってみたい!」と思ったんです。そして大人になって作り続けるうちに楽しくなっちゃって。シリゲは「枠」と「絵」、それらをつなぐ「つり」という透かし模様さえあれば、後は自由。だから、自分なりに工夫するように「たの」と話してくれました。

カッターナイフを自在に操り、3枚に重ねられた和紙の上から細かな模様を作り出す美甘さん。紙に厚さがある分、力も必要のため、シリゲは「切る」のではなく、「彫る」と言うのだそう。美甘さんの手によって生まれたシリゲは、流れるような女性の髪や、今にも押し寄せそうな大

波など、繊細さと同時に躍動感にもあふれています。

また、美甘さんをはじめとする大宮踊保存会の方々には30年以上にわたって地元の小中学校で作り方を教えており、毎年開催される「シリゲ展」には子どもから大人まで約200点にのぼる作品が集まるのだとか。中には、蒜山を離れてもシリゲを作り続け、毎年応募してくれる人もいます。

「シリゲを通じて地域とつながっていると感じてくれたらうれしいし、若い人に受け継いでいってもらいたい。子どもたちにも教える時も、将来、自分の子どもにも教えてあげてね」と言っているのよ」と美甘さんは笑顔で話してくれました。

山の緑が濃くなり、高原に爽やかな風が吹く季節。夏の宮踊に向け、蒜山では今年もシリゲ作りが始まろうとしています。

シリゲのふるさと
岡山県蒜山高原

岡山と鳥取の県境に位置し、リゾート地としてだけでなくジャージー牛の産地としても有名な高原。夏の宮踊は、最もにぎやかになる福田神社をはじめ、蒜山各地の神社やお寺、辻堂などを日替わりで回って踊られる。

台所の相談室

新緑のまぶしい季節になりました。このご時世、遠出は難しいけれど、お弁当箱に詰めるだけでウキウキ、ピクニック気分を楽しみませんか。

FILE 18

卵とパンさえあればOK！ 味も、食べ応えも、満点です。

難しいですよね。

今、はやりの出汁巻きサンドはいかがでしょう。卵と食パンの買い置きさえあればすぐにできて、味とボリュームに満足いただけるサンドイッチです。

味のポイントは、出汁入りの卵焼きを挟むところ。かつお出汁の和の味に、バターやマヨネーズ、マスタードを組み合わせ、シンプルながら奥深い味わいに仕上げます。

野菜も一緒に挟みたい時には、出汁巻きの厚みを少し抑えて、レタスやきゅうりなどを組み合わせてください。ただ、最初は出汁巻きだけで、ぜひ味わっていただきたいところです。

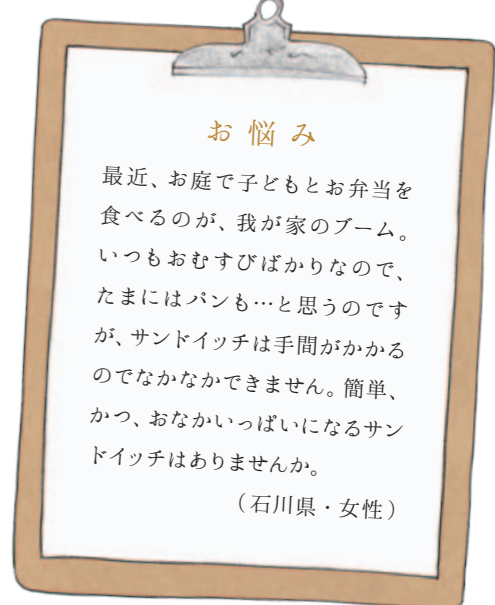
パンはトーストしたパンでもいいですし、挟んで切るのが苦手なら、まずはロールパンから始めてもいいでしょう。意外にもサンドイッチは「切る」が

サンドしたらすぐに切らず、お皿などで重しを置いて具材とパンをなじませ、落ち着かせてから。または、クッキングペーパーなどで包み、ペーパーごと切るとパンがずれません。一工夫すれば、きれいな切り口になりますよ。



ひだかずを
飛田和緒さん

料理家。1964年、東京都生まれ。独自のアイデアレシピが人気。『いちばんおいしい野菜の食べ方』（オレンジページ）を始め、著書多数。



お悩み

最近、お庭で子どもとお弁当を食べるのが、我が家のブーム。いつもおむすびばかりなので、たまにはパンも…と思うのですが、サンドイッチは手間がかかるのでなかなかできません。簡単、かつ、おなかいっぱいになるサンドイッチはありませんか。

(石川県・女性)



Answer Recipe

出汁巻きサンド

材料(1組分)

- 卵 3個
- かつお出汁 大さじ3
- 醤油 小さじ1
- 油 小さじ2~3
- 食パン 2枚
- A
 - バター 適量
 - マヨネーズ 適量
 - マスタード 適量

※12×18cmの卵焼き器を使用
※食パンは6枚または8枚切り

作り方

- 1 ポウルに卵を割り入れ、出汁、醤油を合わせる。
- 2 卵焼き器に油半量を入れて熱する。その間に①を溶き混ぜる。
- 3 卵液を1/4流し入れて広げ、半熟くらいに火が通ったら、二つに折る。さらに卵液を1/3流し入れ、卵を少し持ち上げて裏にも液が流れるようにする。半熟になったらまた二つに折る。
- 4 油を足して、③の作業を繰り返し、皿などに取り出す。
- 5 パンにAを塗って、出汁巻きのせて挟み、切る。



飛田さんってどうですか

卵の厚みを出すには、なるべく小さな卵焼き器(フライパン)を使うこと。パンで挟むので形は気にしなくても大丈夫。油を多めに入れると卵液がなじんで、しっとりふんわりと焼き上がります。また、バターやマヨネーズを塗ることでパンがコーティングされ、出汁が染み込まず、おいしく食べられますよ。

台所のお悩み事をお寄せください。

お料理について気になることや、ちょっとしたお悩みを、飛田さんに相談してみませんか？ お便りをお待ちしています。宛先は裏表紙をご覧ください。



ほほえみのひろば



ツバメさん

埼玉県北本市 中谷 康子さん



「チツチ、チツチ(ただいま)」「おかえりー」
今年も我が家にツバメさんが帰ってきました。数年前より玄関のポーチに巣を作り、5〜6羽のひなが巣立ったかと思いきや、再び巣ごもりをして新たに5〜6羽のひなを育てています。子育てを頑張ると応援しながら、見守る日々が続きました。
その後、ツバメさんたちは近くの川辺で力をつけて成長し、いよいよ旅立ちの季節。みんなで「さよなら」の挨拶に来てくれたかのように、家の周りを何度も飛び交い、去っていきました。来年も元気に来てね！

まるで言葉まで通じているかのよう！
心と春の交流ですね。

ドンマイ!

鹿児島県鹿児島市 中川 妥子さん



令和元年の5月、広島に住む孫娘が男の子の赤ちゃんを産みました。「お乳をいっぱい飲み、夜泣きもせず、に良い子です」と、次々に送られてくる、ひ孫の写真や動画に私たちは夢中に。それだけでは飽き足らず、「早く抱っこをしたい」と、産まれたばかりのひ孫に会いに行きました。
夫は数年前に患った病気のせいで、ときどき記憶があいまいになります。ひ孫の名前を何度も尋ねながら、ひざに抱っこしたひ孫を見つめて、「こんなにかわいい顔も忘れていくのかな」とぼつり。そんなつぶやきを聞いた孫娘は「じいちゃん、私たちが覚えていたから…ドンマイ！ドンマイ！」と励ましてくれたのです。その時の夫の目は、潤んでいるように見えました。

きっと赤ちゃんも、抱っこされた時の温かさや愛情を感じ取っていたはず。

ニュー大学生

北海道北見市 山本 知恵子さん



夫が70歳を迎え、人生2度目の定年退職で職場を後にしました。趣味に運動に家事に、と結構多忙な毎日を過ごしているようですが、私としてはちょっと気がかり。
そこで、市が開設している生涯学習の大学”しらかば大学”に入学してみても？と提案。定年後しばらくはのんびりしたいかと思っていました。が、晴れて春から大学生に！新たな学生生活を満喫してね。

いくつになっても新しく学ぼうという意欲的な姿勢を見習いたいです！

月桂樹

神奈川県足柄下郡 勝俣 淳子さん



主人が裏庭の月桂樹を今年もたくさん伐採したので、私も例年通り葉を摘み始めました。すると、みずみずしい新芽が出ていることに気がついて、早速天ぷらにしてみました。家族に大好評！
成長した青葉は、ハーブティーでいただき、ネットに入れて月桂樹風呂も楽しみました。
月桂樹の清々しい香りに包まれて、気持ち豊かな一日になりました。

こちらまで香ってきたそう！
生活の知恵を是非まねたいです。

グレーヘア

大阪府東大阪市 須藤 ゆり子さん



パートへ行く途中に、自転車で転んで右手の親指を骨折してしまいました。何かと不自由になった中で、気分転換にと、今まで頑張っていた白髪染めを思い切ってやめてみました。すると面白いことに、あんなに気にしていた白髪が平気になり、今ではブルーなどファッションカラーで染めて遊んだりしています。
久しぶりにリボンがあしらわれたカチューシャを付けてみたら、主人が「かわいいね！」と言ってくれて心までウキウキ。グレーヘアを楽しんでいます。

グレーヘアって上品ですね。
大人のおしゃれが素敵です。

土のある暮らし

広島県尾道市 木原 由美子さん



私の家の裏には、ささやかな庭があります。
つい最近まで深紅の牡丹が咲き誇り、今は色とりどりのガーベラや、ピンク色の芍薬しやくやくなど春の花が心を癒してくれます。庭には雑草もよく生えるので、起床してすぐ草抜きをすることが一日の始まりです。
秋にはレモンや柿などが実り、私の心を和やかにしてくれます。これからも草花と共に元気に過ごしていきたいと心から願っています。

季節ごとの彩りに包まれるなんて、丁寧な暮らしに憧れます。

人間的成長

燈々無尽

大きなことが、ひとつ、ひとつ、まとまってくる。大事なことは、これにたずさわる一人ひとりが、人間的に成長をしてほしいことです。それは、あなたです。だれでもない、自分自身の事であると、あなたが気がついて、新しく生まれ変わって下さることで、気のつく事が、人間的成長だ！

ダスキン創業者 鈴木清一

愛の輪通信

ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業 第37期研修生 大塚里奈さん(肢体不自由)

アメリカ・ボストンでの海外研修の日々は、新しい私に出会う旅でした。



20歳の頃、私は大学生として日々を楽しむ半面、「現状のままでもいいのか？」と疑問を抱いていました。本当はありのまま生きることが楽しみたいのに、街ゆく人に自分の姿を見られると苦しく感じるなど、それは私にとって世界一難しいことだったのです。

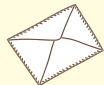
そんな時、愛の輪基金の海外研修の存在を知り、海外の障がい者ほごんなぶつに生きていくのが興味を持ちました。そして「障がいと生きることに自信を持てるようになりたい」と参加を決意。出発前から帰国の時まで使っていたノートは、今でも私の宝物です。



このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎06-6821-5270 <https://www.ainowa.jp/>

愛の輪は、日本とアジア太平洋の地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。





あなたのお便りや写真をお寄せください。

皆様からお送りいただいたお話をもとに新聞を作っています。あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をどうぞお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- 紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真には、ささやかなお礼品をお送り致します。
- 作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却は致しかねますのであしからずご了承ください。

- 本号は、2021年2月に制作したものです。状況によって記載内容が変更となる場合がございます。

No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます。

<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



紋付袴がお似合い!



愛知県豊橋市北館 初江さん

珍しい鉢植えの藤



広島県広島市玉田 敏則さん

若葉がまぶしい季節です



奈良県北葛城郡森田 恵子さん

岩手県花巻市藤原 道雄さん

仲良し姉妹♪



無限に続くネモフィラの青!



茨城県石岡市関 美代子さん

初節句、うれしいな!



東京都調布市奥村 由美子さん



読者の皆様からお送りいただいた素敵な1枚ををご紹介します。

引越しのおそうじにはダスキンモップが便利!
引越しのお手続きは、担当店・Webページ
ダスキンコンタクトセンター 0120-100100 まで



株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記の株式会社ダスキン コンタクトセンターまでご連絡ください。

0120-100100 www.duskin.co.jp

60-2C 2021.4 3430400